STIEBEL ELTRON

デマンド換気システム

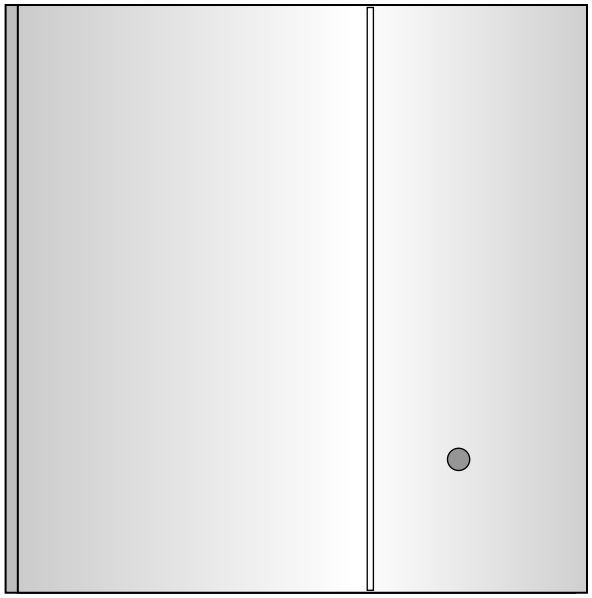
LA60シリーズ

取扱説明書

（取付説明書、保証書付）

型　式……● LA60AJ

● LA60UJ



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。

● この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目 次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意…… 1
2. LA60シリーズの外形寸法…… 3
   2−1. LA60AJの外形寸法 …… 3
   2−2. LA60UJの外形寸法 …… 3
3. ご使用方法…… 4
   3−1. ブレーカの確認 …… 4
   3−2. デマンド・強弱スイッチの使いかた …… 4
   3−3. デマンド・通常スイッチの使いかた …… 5
   3−4. スイッチを使用しない場合の使いかた … 5
   3−5. 運転モード・運転表示ランプについて … 5
   3−6. 長期間不在の場合は …… 5
4. 日常の点検とお手入れ…… 6
   4−1. フィルターの清掃と交換 …… 6
   4−2. 交換用フィルターの購入について …… 7
5. こんなときは？…… 7
6. 点検及び修理について…… 8
7. 仕様…… 9

取付説明書

1. 安全上のご注意…… 11
2. 機器を設置する前に…… 13
3. 機器設置工事…… 14
   3−1. 配線の接続 …… 14
   3−2. LA60AJの設置 …… 16
   3−3. LA60UJの設置 …… 19
4. 試運転…… 24
   保証書…… 25

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

絶対に改造はしないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。

機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

可燃性のガスが漏れた場合は、機器のスイッチを操作しないでください。

機器のお手入れ中以外は、運転を止めないでください。

指示

補強を行なっていても、震災、その他の天変地異で万が一、機器が壁から外れた場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル株式会社にご連絡ください。

① 機器の電源ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にしてください。
② 落下物がある場合は取り除いてください。
③ 建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。

機器がしっかりと壁面または、天井面（LA60UJのみ）に固定されていることを確かめてください。

機器の設置、移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。

機器に異常が発生した場合は、機器のブレーカを「切」（OFF）にして日本スティーベル株式会社に修理を依頼してください。

フィルター点検清掃をする場合は、必ずブレーカを「切」（OFF）にしてから掃除を行ってください。

子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

フィルターが無い状態で機器を運転しないでください。

注意

フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。

機器運転中は、前面パネルを必ず閉めてください。

指示

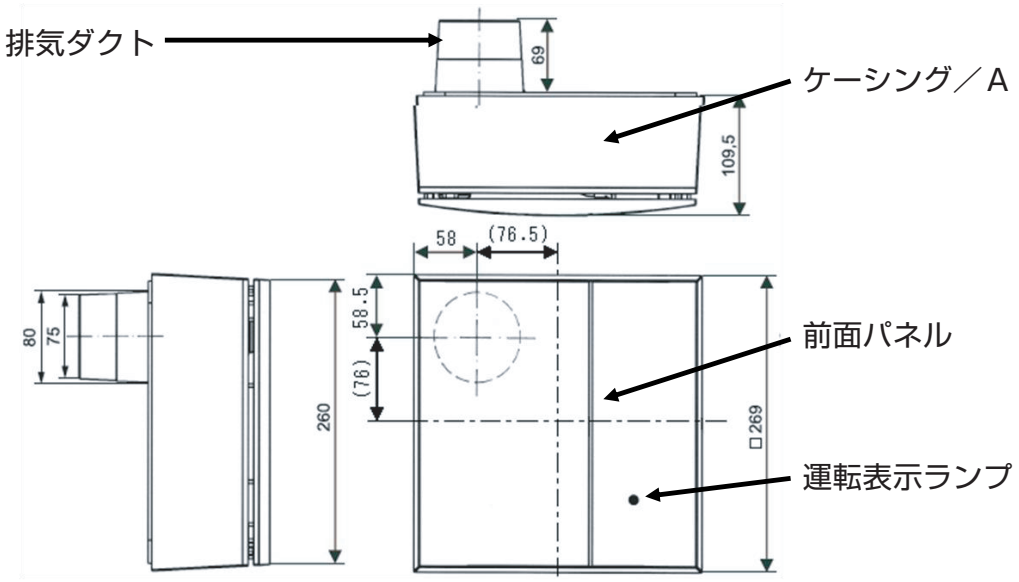
フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。

機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。

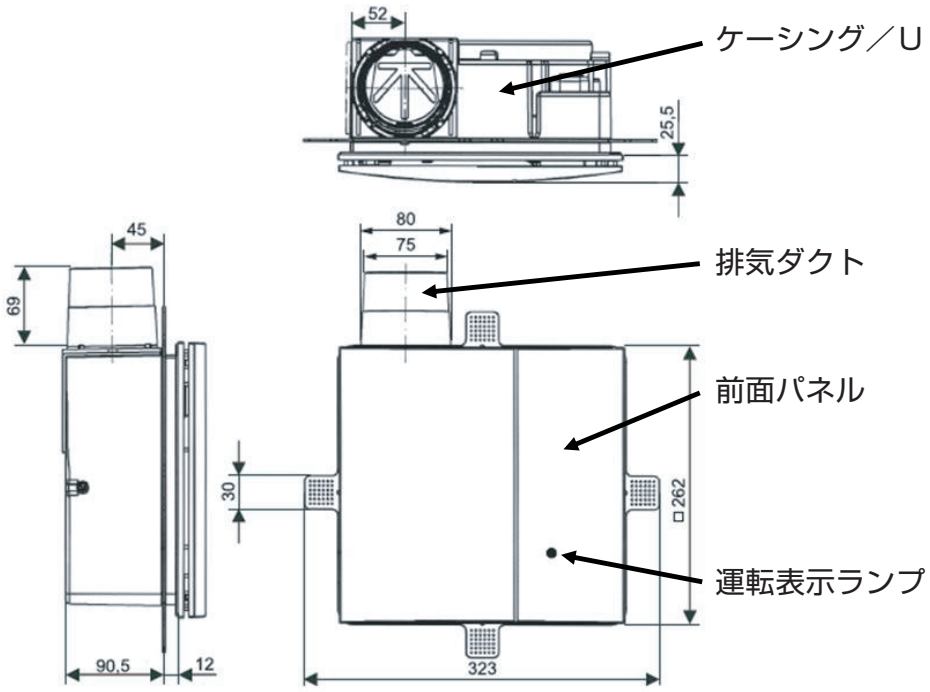
2. LA60シリーズの外形寸法

LA60シリーズには壁面露出設置で後方排気のLA60AJと、天井面、又は壁面埋め込み設置で側方排気のLA60UJの2機種があります。

2−1. LA60AJの外形寸法



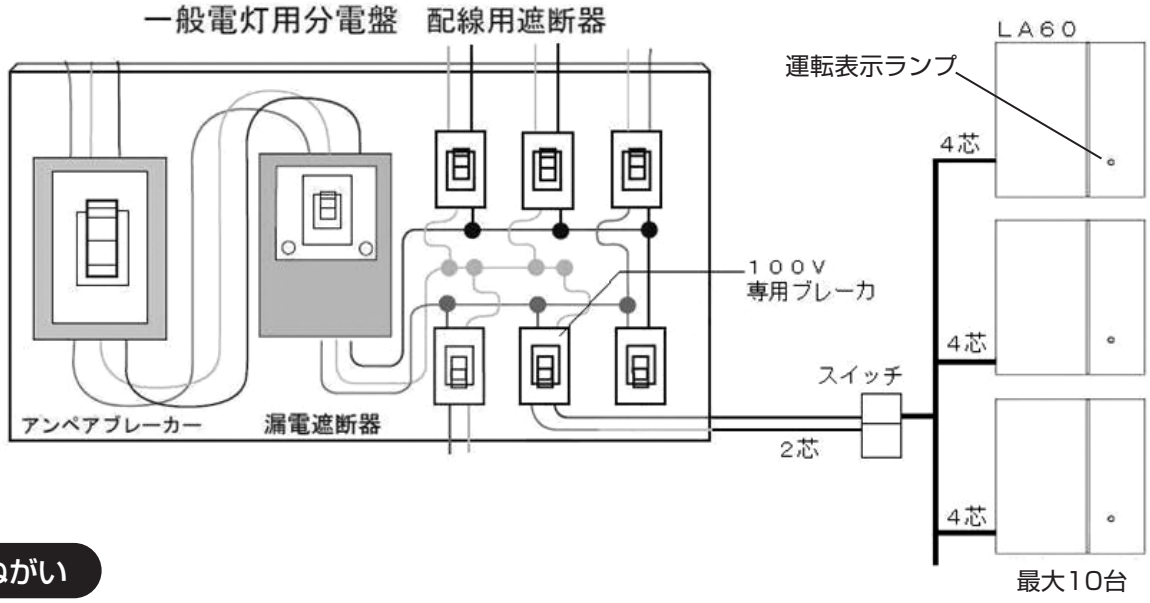
2−2. LA60UJの外形寸法



3. ご使用方法

3−1. ブレーカの確認

専用ブレーカを「入」（ＯＮ）にして機器に電気を供給します。



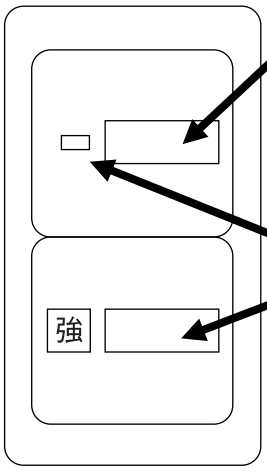
おねがい

○専用ブレーカの場所、スイッチの場所については、施工業者に確認してください。

3−2. デマンド･強弱スイッチの使いかた

デマンド・強弱スイッチを使用して運転モードを、デマンド・強・弱と切り替えることができます。

(1) 各部の名前と機能



デマンド運転スイッチ
デマンド運転のON／OFFを切り替えます。

「緑」点灯……デマンド運転「ON」
消灯……デマンド運転「OFF」

切替表示ランプ

強弱運転切替スイッチ
デマンド運転がOFFの場合のみ弱運転と強運転を切り替えます。

「弱」表示……弱運転します。
「強」表示……強運転します。

(2) 運転モード

① 弱運転…… 常時30m^3/h（50Hz 地域）
常時35m^3/h（60Hz 地域）で換気を行います。

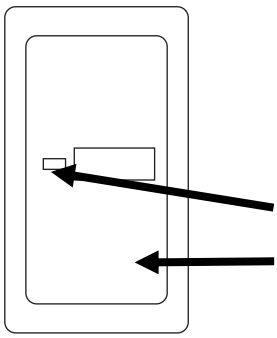
② 強運転…… 常時65m^3/h（50Hz 地域、60Hz 地域共通）で換気を行います。
通常は強運転で換気してください。

③ デマンド運転…… 温湿度センサーで検知した温度と湿度から排気風量を自動制御して、お部屋を快適な環境に維持する運転を行います。
機器本体の運転表示ランプが「緑」点灯していない場合は、常時30m^3/h（50Hz 地域）または35m^3/h（60Hz 地域）で換気を行います。

3−3. デマンド･通常スイッチの使いかた

デマンド・通常スイッチを使用して運転モードを、デマンド・通常と切り替えることができます。

(1) 各部の名前と機能



デマンド運転と通常運転を切り替えます。

「緑」点灯……デマンド運転「ON」
消灯……通常運転します。

切替表示ランプ

切替スイッチ

(2) 運転モード

① 通常運転…… 常時65m^3/h（50Hz 地域、60Hz 地域共通）で換気を行います。
通常は通常運転でご使用ください。

② デマンド運転…… 温湿度センサーで検知した温度と湿度から排気風量を自動制御して、お部屋を快適な環境に維持する運転を行います。
機器本体の運転表示ランプが「緑」点灯していない場合は、常時30m^3/h（50Hz 地域）または35m^3/h（60Hz 地域）で換気を行います。

3−4. スイッチを使用しない場合の使いかた

①運転モードの切り替えはありません。常時、通常運転で換気を行います。
②通常運転：常時65m^3/h（50Hz 地域、60Hz 地域共通）で換気を行います。

3−5. 運転モード・運転表示ランプについて

(1) 運転モードについて

デマンド運転　　：10月から4月末までの期間に動作します。
上記以外の期間は、弱運転と同じ風量で運転します。

低温時の自動停止：機器が約8℃以下を1時間以上検知すると運転を停止します。
機器が約14℃以上を検知すると運転を再開します。

(2) 運転表示ランプについて

「赤」点灯：フィルター清掃、又は、フィルター交換が必要
「緑」点灯：デマンド運転中

メモ

○「赤」点灯は、リセットボタンを先端が平らな長い棒で3秒間押すと消灯します。
○「赤」点灯は、「緑」点灯に優先します。

3−6. 長期間不在の場合は

専用ブレーカを「入」（ON）にしたままとし、機器を止めないでください。

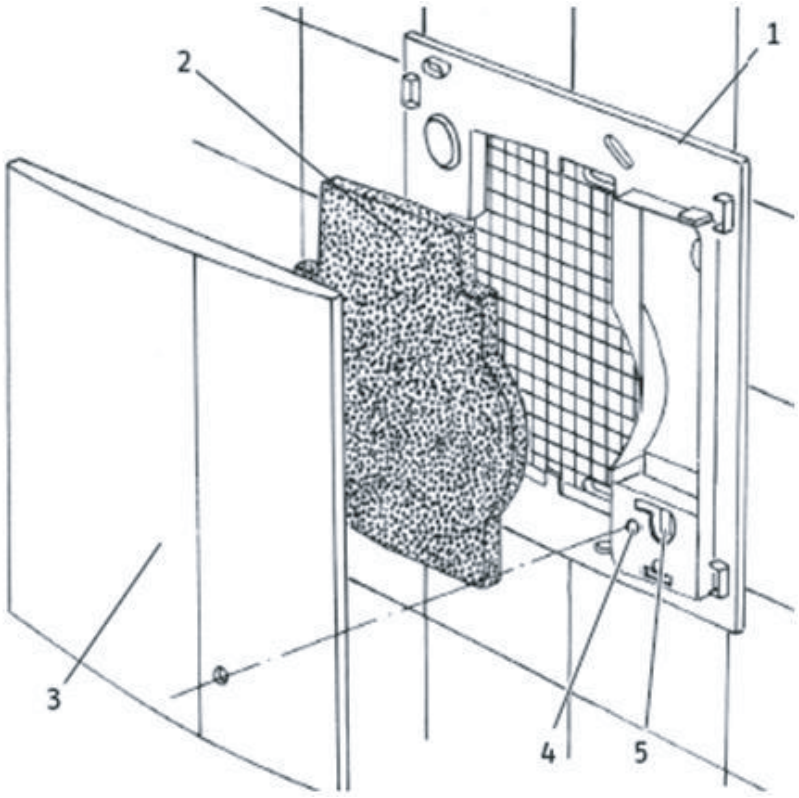
4. 日常の点検とお手入れ

4−1. フィルターの清掃と交換

①この機器はフィルター清掃のお手入れが必要です。使用状態にもよりますが、約6カ月を目安として運転表示ランプが「赤」点灯します。
②清掃の際は、専用ブレーカを「切」（OFF）にして、下記の手順でフィルターの清掃、またはフィルターを交換してください。
③少なくとも１年１度を目安にフィルターの交換をしてください。

おねがい

○ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロン製のたわしなどの使用は、機器本体を傷めますので絶対にやめてください。
○清掃の際、通常は乾いた布でふいてください。
○汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。



１：ケーシングカバー
２：フィルター
３：前面パネル
４：運転表示ランプ
５：リセットボタン

①事前に専用ブレーカを「切」（OFF）にします。
②機器の周辺についている埃等を清掃します。
③前面パネルを左側、右側の順番で手前に引き、ケーシングカバーから外します。
④ケーシングカバーからフィルターを外します。
⑤フィルターを食器用洗剤等で清掃、又は、交換します。
⑥リセットボタンを先端が平らな長い棒で3秒間押して、「赤」点灯を消灯します。
⑦前面パネルをケーシングカバーに取り付けます。

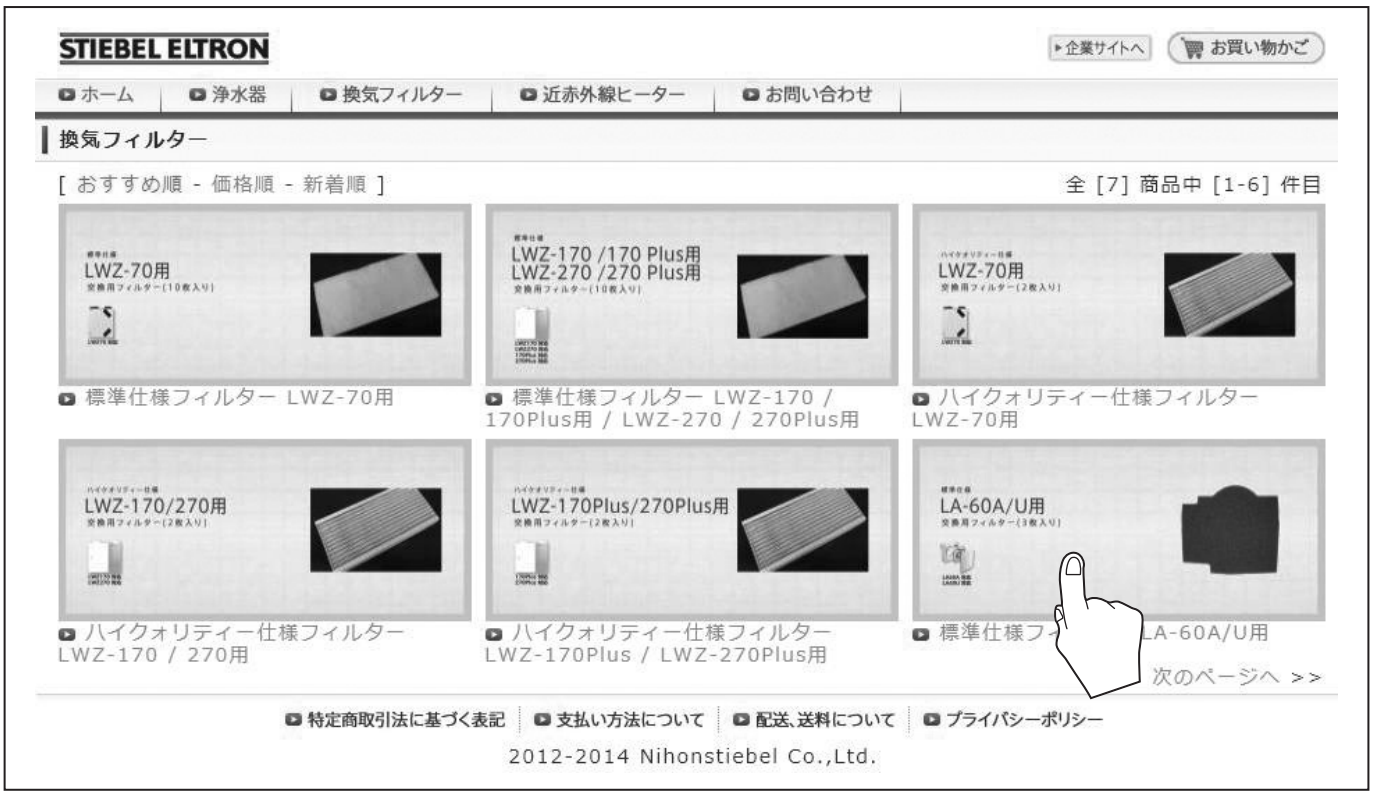
メモ

○前面パネルは、右側から外すと破損する場合があります。必ず左側から外してください。

4−2. 交換用フィルターの購入について

交換用フィルターは、下記のサイトから購入することが出来ます。

「 http://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/ 」　STIEBEL　EC　SHOP



5. こんなときは？

症　状	考えられる原因	対　　策	参照ページ
ファンが動かない。	ブレーカが「切」(OFF)になっている。	ブレーカを「入」（ON）にしてください。	P.4　3−1
	室温が8℃未満になっている。	室温が8℃以上の環境下でご使用ください。	P.4　3−2 P.5　3−3
異音がする。	フィルターが詰まっている。	フィルターを清掃してください。	P.6　4
風量が少ない。	弱運転、又はデマンド運転になっている。	切替スイッチを押して強／通常運転にしてください。	P.4　3−2 P.5　3−3
「赤」点灯が消えない。	リセットボタンを押している時間が短い。	リセットボタンを3秒間押してください。	P.6　4

症状が改善しない場合は、日本スティーベル株式会社にご連絡ください。

6. 点検および修理について

(1) アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書P７「5. こんなときは？」をよくお読みのうえ、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、日本スティーベル株式会社にご連絡ください。

日本スティーベル株式会社

TEL：044-540-3200

平日 9：00～17：30（土日祝日および弊社特定休業日を除く）

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧のうえ、次のことをお知らせください。

① 製造番号　　：保証書をご覧ください。
② 不具合の内容　：ファンが動作しないなど。
③ お取付け年月日：保証書をご覧ください。
④ お名前、ご住所、電話番号。

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

本機器は、お取付け日から１年保証です。
保証書は、お取扱い店または、施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」または、「施工店」名、「お取付け日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。
修理を依頼される場合、弊社にご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

○お客さまご自身で分解、改造した場合は、一切保証できかねますので、予めご了承ください。

7. 仕様

機 器 名		LA60AJ	LA60UJ
電源周波数		単相100V　50Hz／60HZ	
定格消費電力（W）		12 ／ 14	
最大風量（m^3／h）		65 ／ 65	
最小風量（m^3／h）		30 ／ 35	
電流値（A）		最大 0.2	
騒音値（dB）		37	
質　量（kg）		2.7	3.2
フィルター性能		G2	
外形寸法	W（mm）	260	
	H（mm）	260	
	D（mm）	109.5	露出部　25.5 埋め込部 90.5
静圧（Pa）		210	
排気ダクト外径（mm）		75−80	
安全クラス		Ⅱ	
保 護 等 級		IPX4	

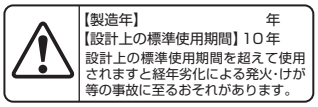
最大／最小風量は、単相100V±0の場合の風量です。

メモ

○騒音値はEN12102に基づく試験値。
　安全クラスⅡの商品は、二重絶縁されているためアース線は必要ありません。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

＜本体への表示内容＞
経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するため
に電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



＜設計上の標準使用期間とは＞
運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（下表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし JIS C9921−2 に基づいて下記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。
○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件　JIS C9921−2 による

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20℃	JIS C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間／年	

STIEBEL ELTRON

デマンド換気システム

LA60シリーズ

取付説明書

型　式……● LA60AJ

● LA60UJ

取付工事店様へ

●この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。

●この機器を正しく安全にお客さまにご使用いただくために、取扱説明書ならびに本書の「P.11　安全上のご注意」をよくお読みのうえ、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。

●施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

●本書の保証書にお取扱い店及びお取付日等の必要事項が記載されていることを確認し、必ずお客さまにお渡しください。

●工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、第三者から必ずお客様に取扱いの説明を行なうようにしてください。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

絶対に改造はしないでください。

取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。

100Vの電源ケーブルに200Vの屋内配線を接続しないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

屋外や湿気の多い場所、浴室内には機器やスイッチを設置しないでください。また、機器やスイッチに水がかからないようにしてください。

床面に設置するのは、絶対におやめください。

機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

注意

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電気的に接触しないよう取付けてください。

指示

電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

電源及び消費電力、定格電流を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しく行なってください。

必ず専用ブレーカを１台設置し、動作確認をしてください。

機器の離隔距離を守ってご使用ください。

注意

禁止

設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。

機器の上に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

次の様なダクト工事はしないでください。（風量の低下や異常音発生、結露などの原因になります。）

① 極端な曲げ
② 多数の曲げ
③ 急激なしぼり・拡大
④ 吐出口すぐそばでの曲げ
⑤ ダクトをたるませる
⑥ ダクト接続部に気密テープをまかない

指示

機器の100Ｖ電源は、屋内配線を直結してください。

機器の異常を発見した場合は､お客さまに引き渡しをせず､日本スティーベル株式会社にご相談ください。

機器運転中は､前面パネルを必ず閉めてください。

機器は必ず補強された壁または天井（LA60UJのみ）に固定してください。設置場所の選定にあたっては、背面固定のできる場所を選んでください。

共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパー及び、その点検口を必ず設けてください。

ダクト配管は、機器から下り勾配になるように取付け、断熱処理を確実に行なってください。

排気ダクトの先端には、雨水などの侵入を防ぐためのフードなどを取付けてください。

気密は経年劣化の少ないテープまたはシール等を使用してください。

取付けの際は、作業用手袋を着用してください。（板金部品で怪我をすることやダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。）

2. 機器を設置する前に

1）スイッチの仕様に従って、下記の配線を準備します。

①機器は、スイッチ１個で10台まで制御可能です。

スイッチ	専用ブレーカ スイッチ間配線	スイッチ 機器間配線	専用ブレーカ 機器間配線
デマンド・強弱スイッチ	2芯1.6mm	4芯1.6mm	―
デマンド・通常スイッチ	2芯1.6mm	3芯1.6mm	―
スイッチなし	―	―	2芯1.6mm

②機器の安全クラスⅡで、アースは必要ありません。

③適用電線：オプションスイッチをご使用の場合

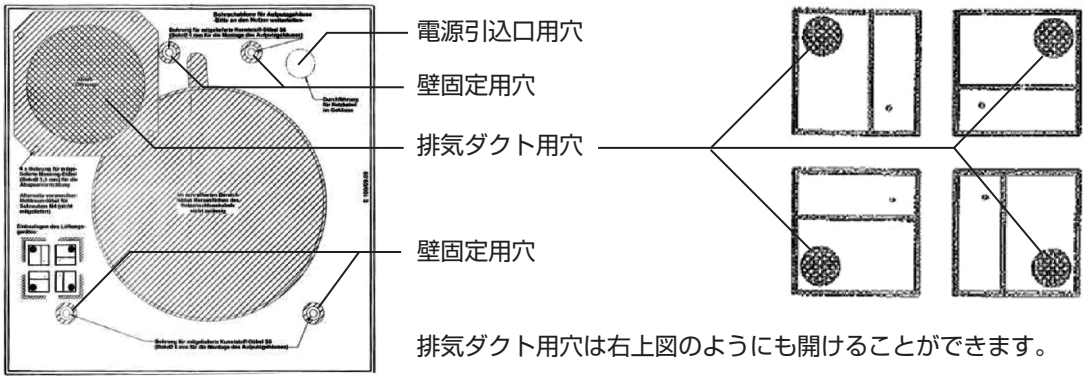
：φ1.6(銅)単線

：より線の場合は､棒端子(WV2500相当品)を付けてから各端子台に確実に締付けてください。

④オプションスイッチ以外のスイッチをご使用の場合は、1.6mm単線で、そのスイッチの適用電線に適合した配線ケーブルと棒端子をご使用ください。

2）機器の設置位置には排気ダクトと接続するためにφ100のＳＵ管を設置します。

ＬＡ60ＡＪは付属の型紙に従い、排気ダクト用の穴と電源引込用の穴を開けます。

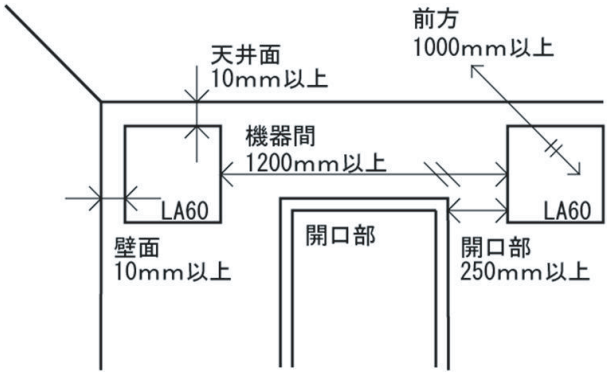


排気ダクト用穴は右上図のようにも開けることができます。

3）機器を固定する壁や柱等は、機器の質量に耐えられるように補強します。

4）下記の離隔を確保します。

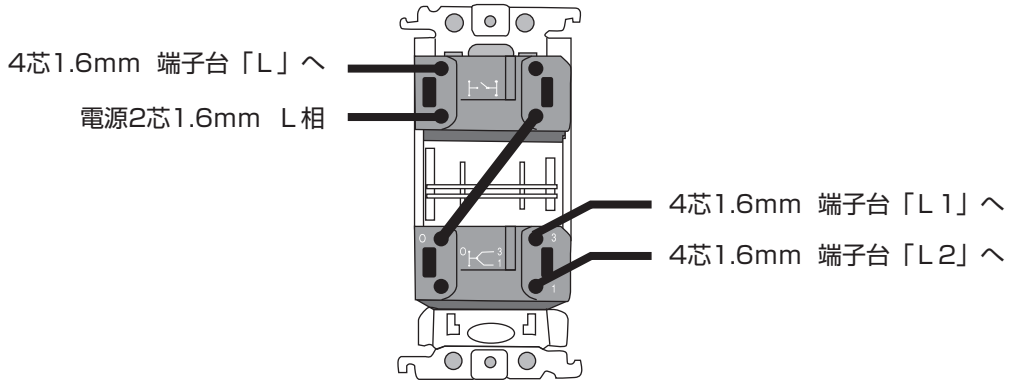
対　　象	離隔距離
壁面（天井）	10mm以上
開口部（窓、ドア）	250mm以上
前面パネル前方	1000mm以上
その他の換気機器	1200mm以上



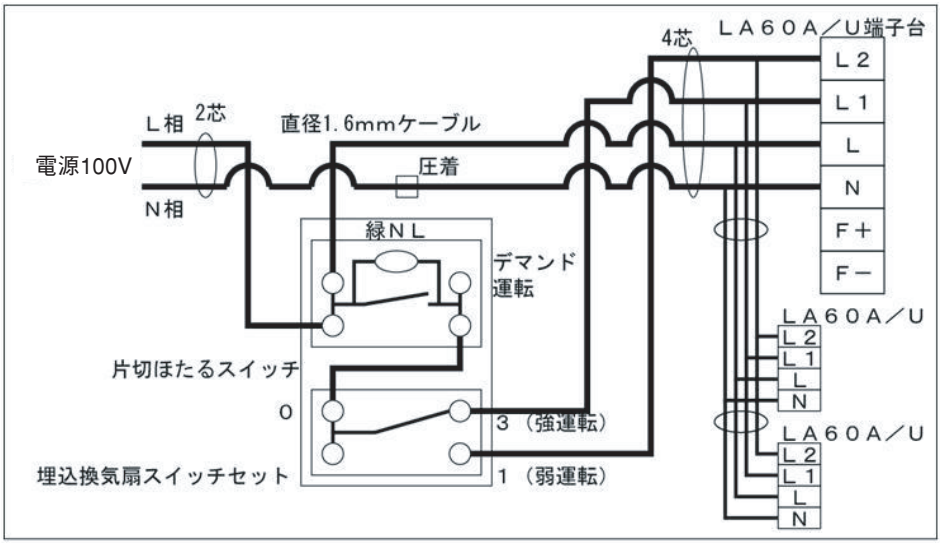
3. 機器設置工事

3−1. 配線の接続

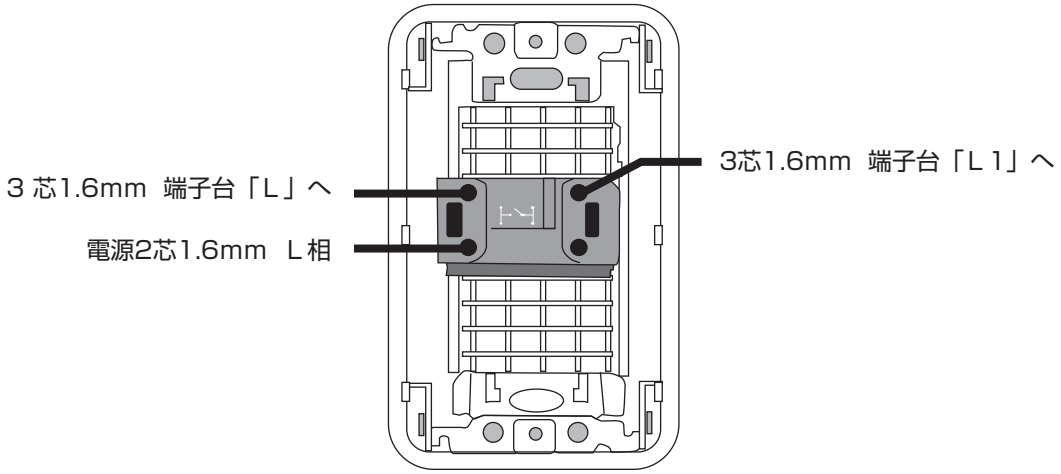
（1）デマンド･強弱スイッチとの接続



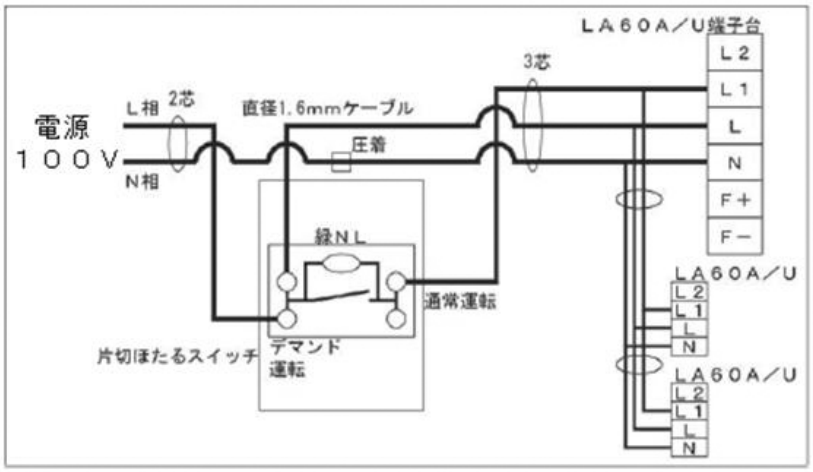
①2芯1.6mmのうちN相は、4芯1.6mmのうち端子台「N」に接続する配線と圧着接続します。
②4芯1.6mmのケーブルを本体端子台の所定の位置に接続します。



(2) デマンド・通常スイッチとの接続

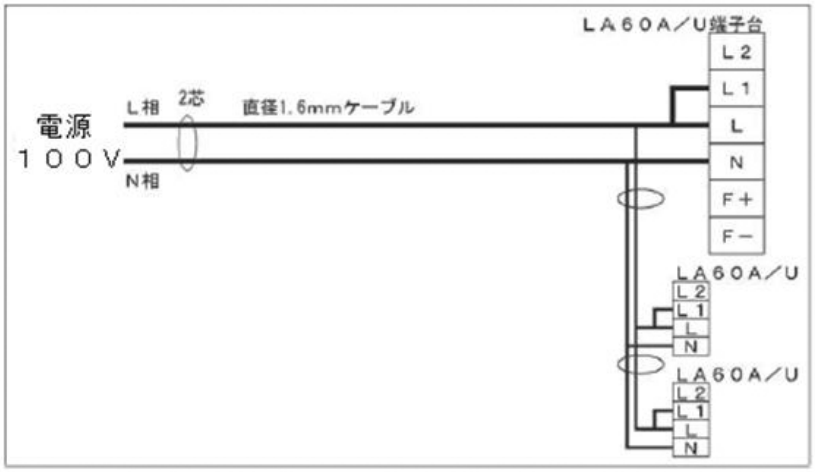


①2芯1.6mmのうちN相は、3芯1.6mmのうち端子台「N」に接続する配線と圧着接続します。
②3芯1.6mmのケーブルを本体端子台の所定の位置に接続します。



(3) スイッチを使用しない場合の配線

①2芯1.6mmの電源ケーブルを端子台「L」と「N」に接続します。
②端子台「L」と端子台「L 1」間に1.6mm単線の渡り線を接続します。

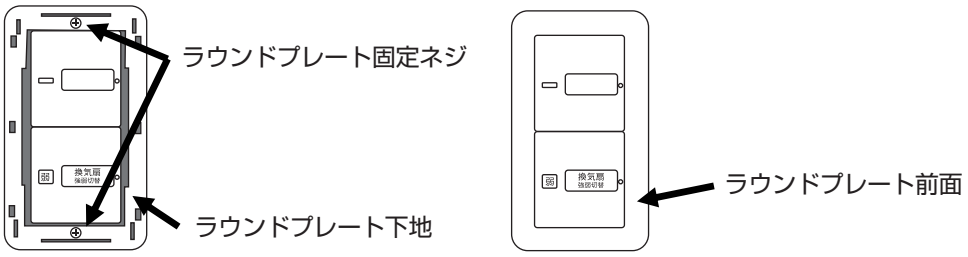


メモ

○スイッチを使用しない場合は、常時、通常運転で換気を行います

(4) スイッチの固定（デマンド・強弱スイッチ、デマンド・通常スイッチの場合）

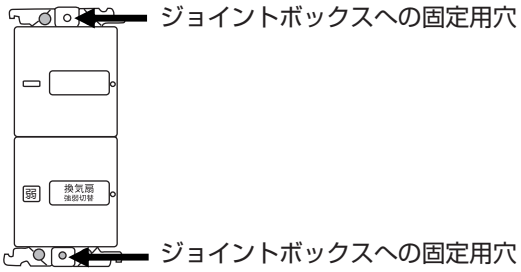
①「ラウンドプレート前面」を「ラウンドプレート下地」から外します。



②「ラウンドプレート固定ネジ」2本を外します。

③ スイッチをジョイントボックスに固定します。

④「ラウンドプレート下地」に、「ラウンドプレート前面」を固定します。



3−2. ＬA60ＡＪの設置

(1) ＬA60ＡＪ納入部品一覧

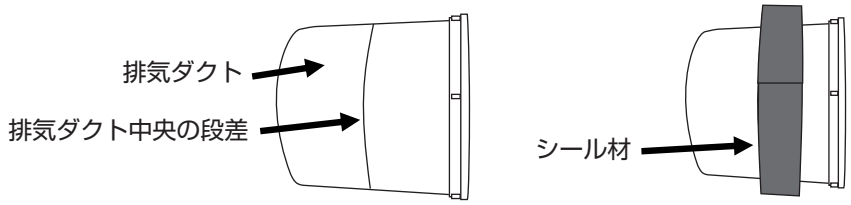
商　品　名	数　量	商　品　名	数　量
LA60A外装キット	1	ケーシング／A	1
		排気ダクト	1
		防音ブロック	1
		φ4.3×27 ネジ	4
		φ4.3用カールプラグ	4
		型　　紙	1
LA60Jファンモーター	1	ファンモーター	1
		前面パネル	1
		φ4.3×40ネジ	3
		フィルター	1
		ケーシングカバー	1
		シール材（3×20×1200mm）	1
		取扱取付説明書	1

オプション部品

商　品　名	数　量	備　　考
デマンド・強弱スイッチ	1	デマンド運転、強運転、弱運転を切り替えるスイッチ。
デマンド・通常スイッチ	1	デマンド運転、通常運転を切り替えるスイッチ。

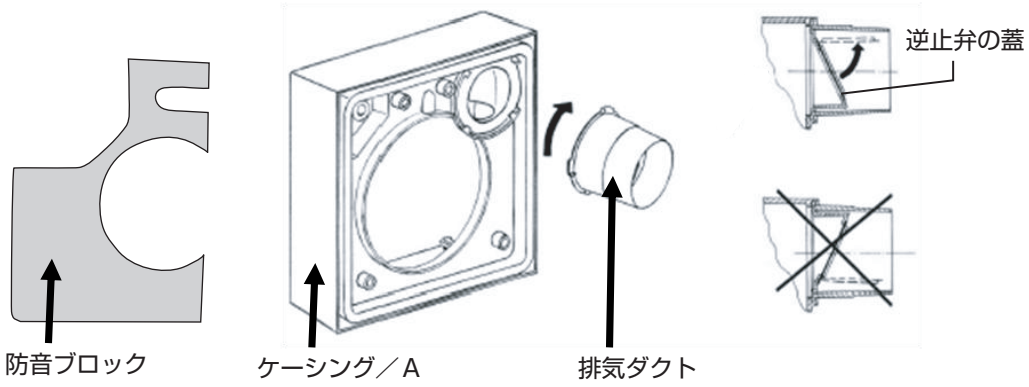
（2）取付前準備

1）排気ダクトの中央の段差に付属のシール材を巻き付けます。



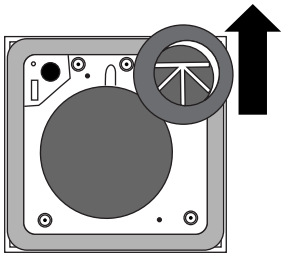
2）排気ダクトをケーシング／Aに接続します。

① 防音ブロックをケーシング／Aから取出します。
② 排気ダクトをケーシング／Aの壁面側接続口に接続します。

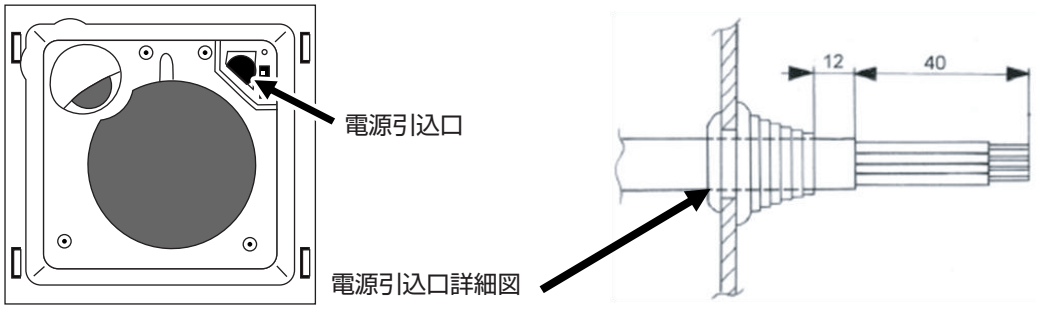


おねがい

○排気ダクトは、右図のように矢印の方向が上になり、逆止弁の蓋が閉じるように接続します。

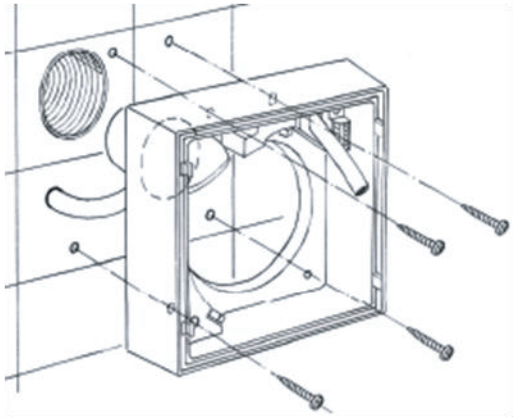


3）電源引込口の先端を下図のように切り、屋内配線を通せるようにします。



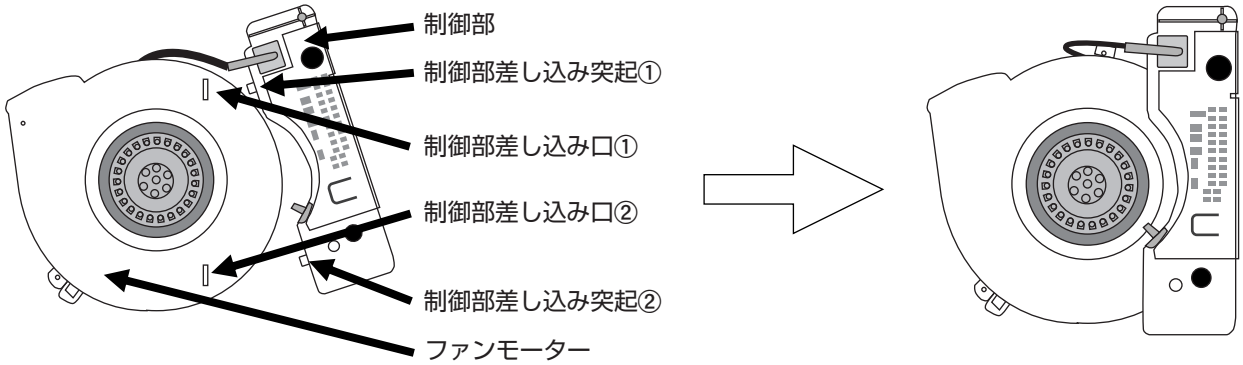
（3）機器の固定

1）排気ダクトを事前に設置したφ100のＳＵ管に差し込みます。



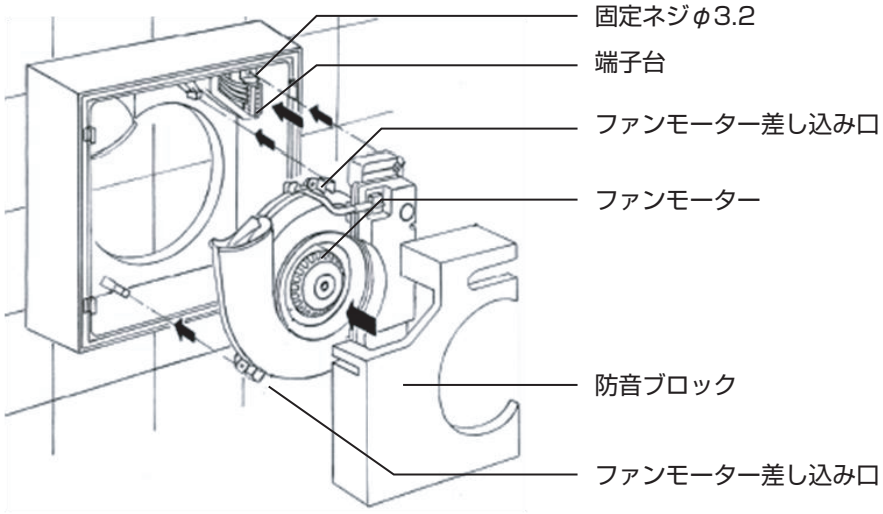
2）付属ネジ4本でケーシング／Ａを壁に固定します。

3）制御部差し込み突起2ヶ所を、ファンモーターの制御部差し込み口2ヶ所に差し込みます。



4）ケーシング／Ａのファンモーター支持突起2ヶ所に、ファンモーターの差し込み口2ヶ所を差し込み、付属の固定ネジφ3.2を締め付けてファンモーターを固定します。

5）ケーシング／Ａに防音ブロックを入れます。

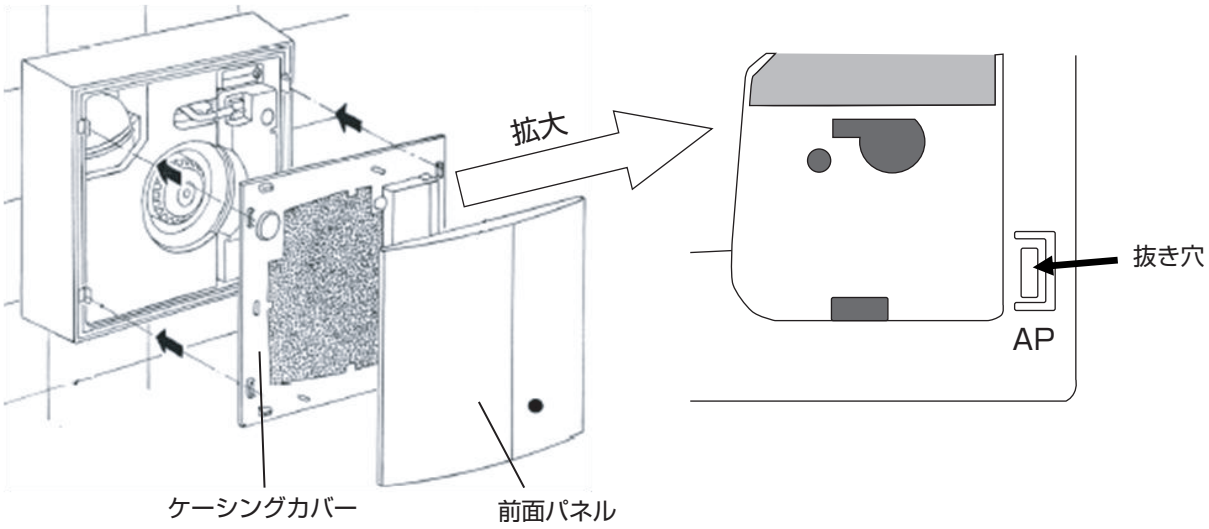


おねがい

○ファンモーター背面から出ているケーブルをケーシング／Ａで挟み込まないように注意してください。
○ケーシング／Ａの排気ダクトとファンモーターの排気ダクトを空気漏れが無いよう接続してください。

6）ケーシングカバーのＡＰと記載がある4つの抜き穴をカッター等で抜きます。

7）前面パネルをケーシングカバーに右から合わせて固定します。



8）外壁側に別途排気フードを取り付けます。

3−3. ＬA60UJの設置

（1）ＬA60UＪ納入部品一覧

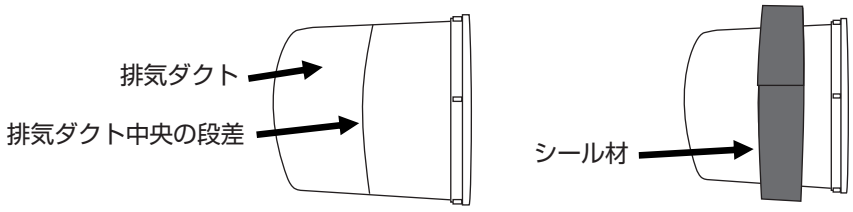
商　品　名	数　量	商　品　名	数　量
LA60U外装キット	1	ケーシング／U	1
		排気ダクト	1
		防音ブロック	1
		φ5ワッシャー	2
		M4.8×19ネジ	2
		M5ナット	2
		φ4.8×19 ネジ	2
		LA60U支持金物	1
		LA60U固定金物	1
LA60Jファンモーター	1	ファンモーター	1
		前面パネル	1
		φ4.3×40ネジ	3
		フィルター	1
		ケーシングカバー	1
		シール材（5×15×1200mm）	1
		取扱取付説明書	1

オプション部品

商　品　名	数　量	備　　考
デマンド・強弱スイッチ	1	デマンド運転、強運転、弱運転を切り替えるスイッチ。
デマンド・通常スイッチ	1	デマンド運転、通常運転を切り替えるスイッチ。

(2) 取付前準備

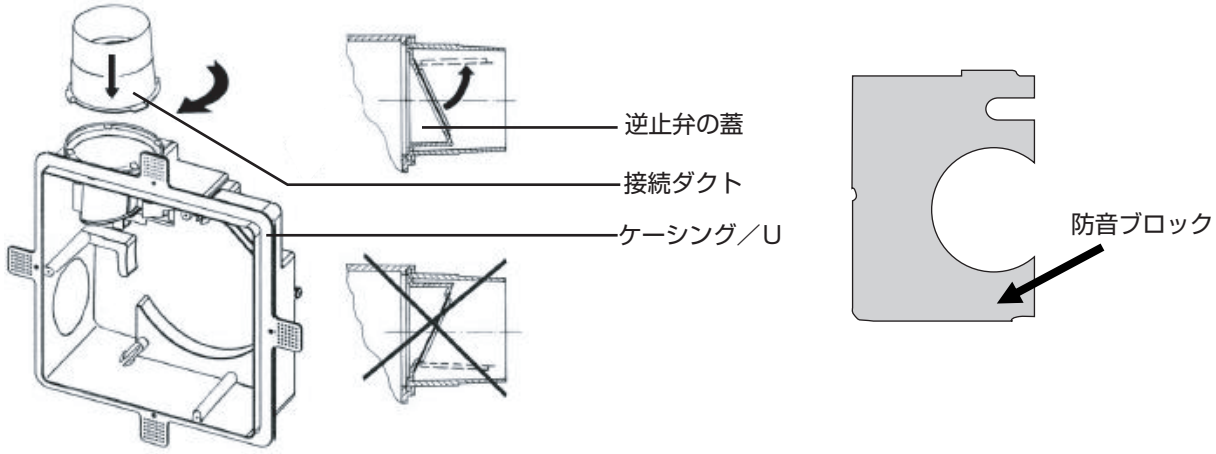
1）排気ダクトの中央の段差に付属のシール材を巻き付けます。



2）排気ダクトをケーシング／Uに接続します。

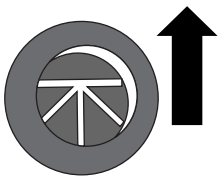
① 防音ブロックをケーシング／Uから取出します。

② 排気ダクトをケーシング／Uの接続口に接続します。



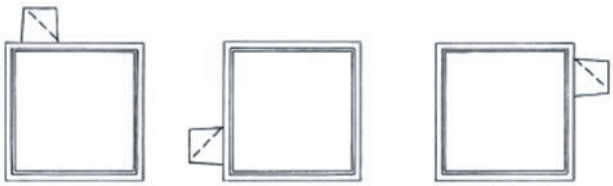
おねがい

○排気ダクトは、右図のように矢印の方向が上になり、逆止弁の蓋が閉じるように接続してください。

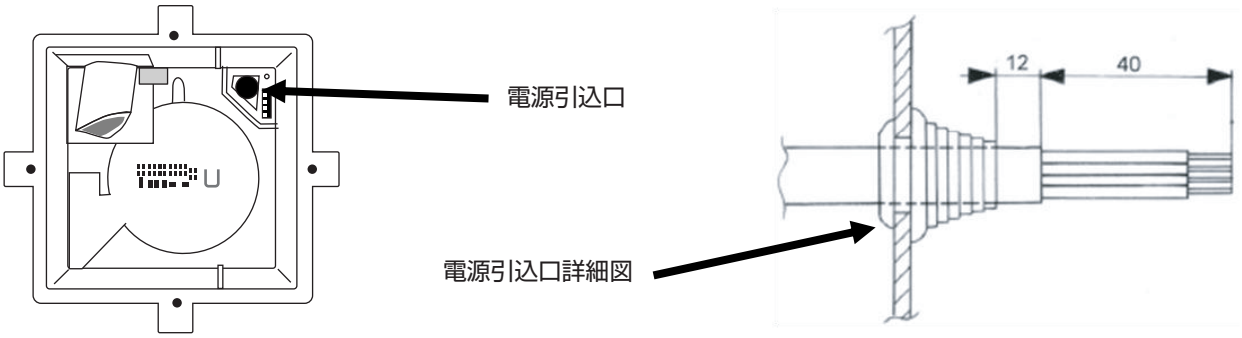


メモ

○ケーシング／Uは、排気ダクトを右図の方向に向けて設置することができます。



3）電源引込口の先端を下図のように切り、屋内配線を通せるようにします。



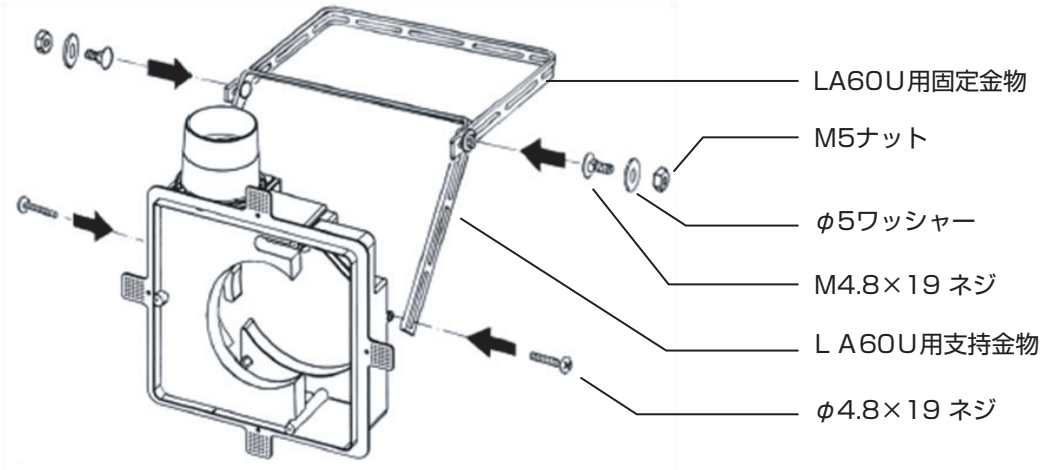
（3）機器の固定

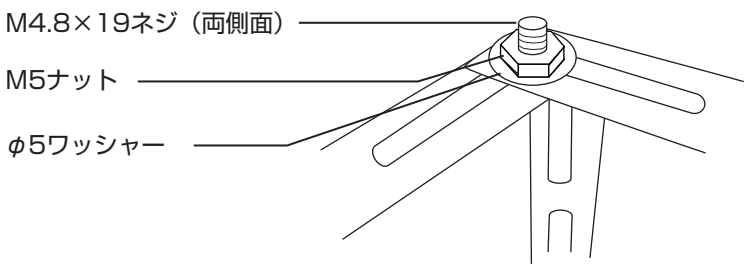
1）φ4.8×19ネジ2本でケーシング／U側面にある、支持金物固定用の穴にＬＡ60U用支持金物を付けます。

おねがい

○支持金物の何処でネジを固定するかは､固定金物を固定する柱又は､壁位置によって変更してください｡

2）M4.8×19ネジ2本でＬＡ60U用支持金物と、ＬＡ60U用固定金物を固定します。

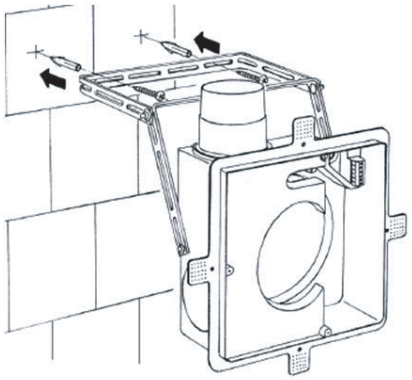




① 本体中心側からM4.8×19ネジを差し込みます。
② φ5ワッシャーを挟んで、M5ナットで固定します。
③ ＬＡ60U固定金物とＬＡ60U用支持金物は、下地に固定できる任意の角度で固定します。

3）天井面又は、壁面のボードを張る前にＬＡ60Ｕ用
固定金物を柱や壁に固定します。

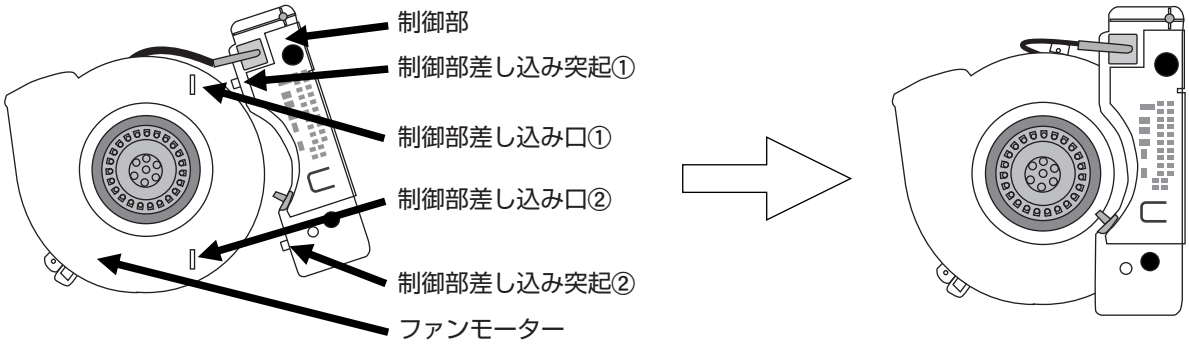
①必ず機器の質量に耐えることができるφ6のネジ2本以上で固定します。
②排気ダクトをφ100のＳＵ管に差し込みます。



おねがい

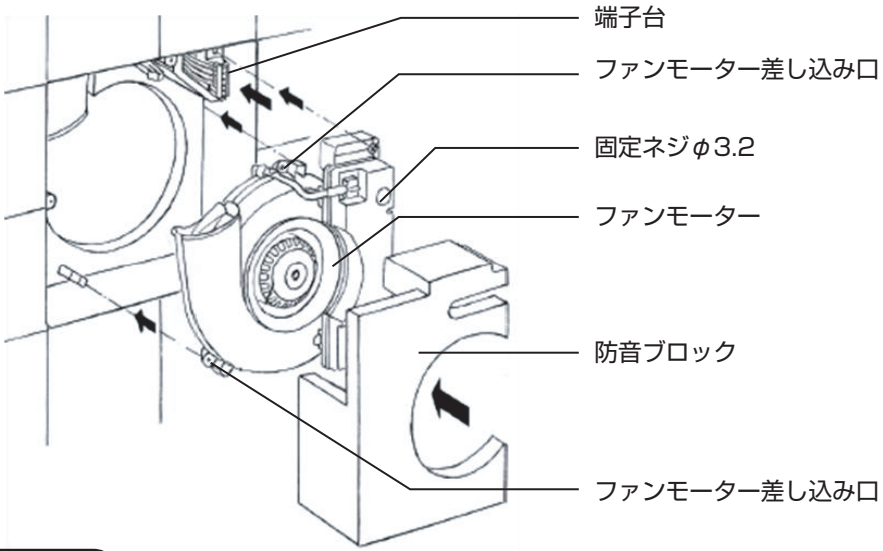
○固定金物と支持金物の長さが下地までの距離に足りない場合は、吊りボルト等を使用してください。

4）制御部差し込み突起2ヶ所を、ファンモーターの制御部差し込み口2ヶ所に差し込みます。



5）ケーシング／Uのファンモーター支持突起2ヶ所に、ファンモーターの差込み口2ヶ所を差し込み、
固定ネジφ3.2を締め付けてファンモーターを固定します。

○ケーシング／Uに防音ブロックを入れます。

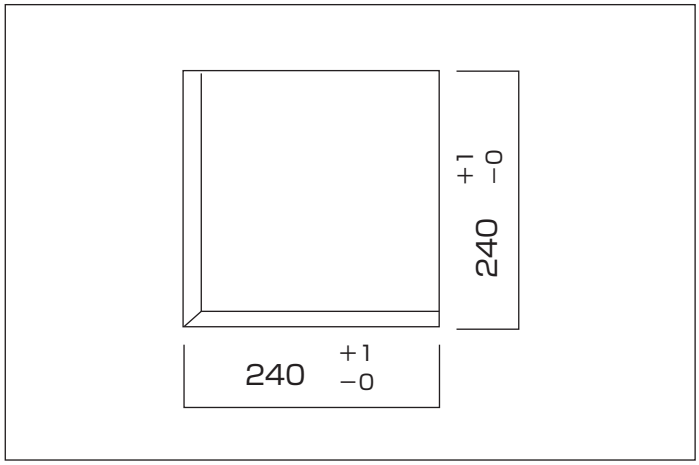


おねがい

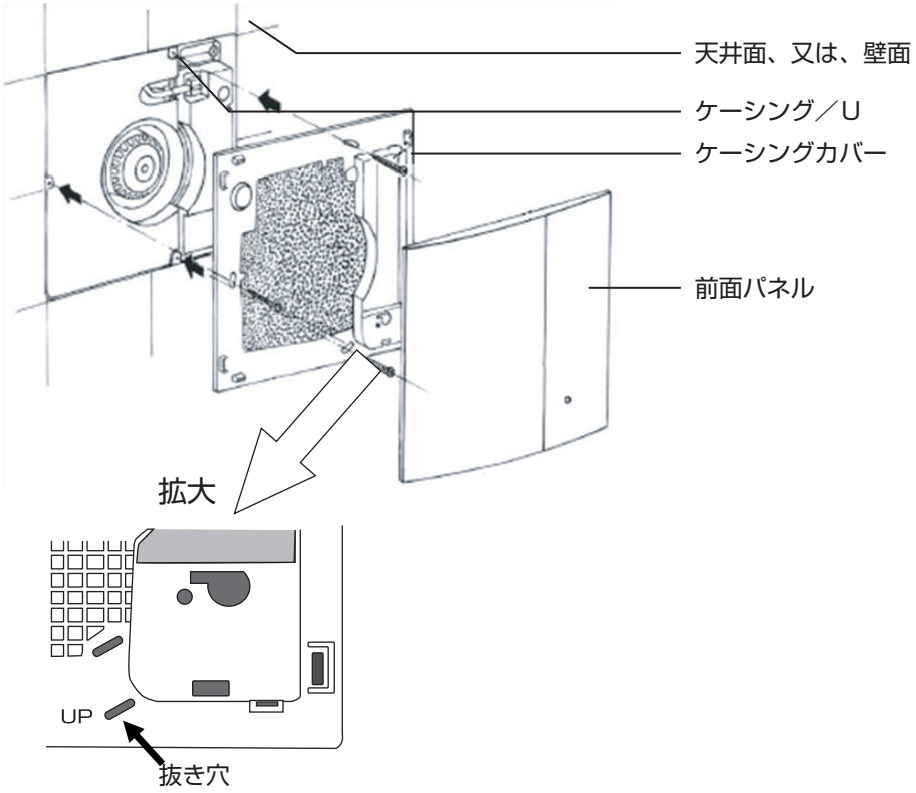
○ファンモーター背面から出ているケーブルをケーシング／Uで挟み込まないように注意してください。
○ケーシング／Uの排気ダクトとファンモーターの排気ダクトを空気漏れが無いよう接続してください。

6）天井面、又は壁面のプラタスターボードが貼られた後に、機器の設置位置に240mm角の角穴を開けます。

誤差は＋1mm　−0mmとしてください。



7）ケーシングカバーのＵＰと記載がある3つの抜き穴をカッター等で抜きます。



8）ケーシングカバーの抜き穴をケーシング／Uの固定位置に合わせ、φ4.3×40ネジ3本で固定します。

おねがい

○ネジは、天井面、又は壁面に密着するまで締めてください。

9）　前面パネルをケーシングカバーに合わせて固定します。

10）外壁側に別途排気フードを取り付けます。

4. 試運転

1）機器の専用ブレーカを「入」（ＯＮ）にします。
2）機器に100Ｖが通電されていることを確認します。
3）スイッチを使用している場合は、下記を確認します。
　①デマンド・強弱スイッチの場合
　　デマンド運転スイッチを押してデマンド運転をＯＦＦにし、強弱切替スイッチを押して、風量の強弱が切り替わることを確認します。
　②デマンド・通常スイッチの場合
　　スイッチを押すことでデマンド運転と、通常運転とに切り替わることを確認します。
4）機器の専用ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にします。

おねがい

○必ず室温が14℃以上の環境で試運転してください。
　14℃未満の室温で試運転を行なうと、自動運転停止が働き、動作しない場合があります。

メモ

○ＬＡ60シリーズは、誘導電動機を使用しているため、電圧供給と圧力損失などの影響により定格の風量がでない場合があります。

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取付け日から１年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル株式会社に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前　　様	
販売店名	社名　　印 〒 住所	取扱者 印
	電話（　　）　　－	
お取り付け日	年　　月　　日	

品　番	ＬＡ60ＡＪ ＬＡ60ＵＪ	
保証期間	製品	お取り付け日から１年

機器はお取付け日から１ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け日、お取扱い店名、製造番号の記載ならびに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

1．お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。

2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル株式会社にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

3．ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル株式会社にご相談ください。

4．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。

（A）修理または交換を必要とする不具合部品を認知していたにも関わらず、修理または交換せずに継続して使用した場合。

（B）使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

（C）お取付け後の移設及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。

（D）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。

（E）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。

（F）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。

（G）砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。

（H）本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名、お取付け日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

5．以下の場合に生じた費用及び代金は、本書による無料による無料保証の対象にはなりません。

（A）理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。

（B）機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。

6．本書は日本国内においてのみ有効です。

7．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル 8 F
TEL 044－540－3200
ホームページ http://www.nihonstiebel.co.jp

■製造者
スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード
64998023

T5130901
201506260